

編集後記

物理療法は、医療の手段としての古い歴史があり、現在の理学療法のルーツは物理療法である。

物理療法は古くは病気、けがの治療手段として用いられていた。本世紀に入ってリハビリテーションを目的として、再び障害の治療・訓練の方法として、新しい理念の下によみがえったと言ってよい。

そういう意味で、物理療法は古くて新しい療法だということができる。

欧米の物理療法の動向を論じた千田論文で、欧米でのヘルスケアシステムの再編成のなかで、物理療法の見直しが行われているというのは興味深いものがある。

慢性疼痛に対する物理療法は電気療法を中心にいろいろと試みられているのが欧米の実状である。

もう一つ、機能代償面における電気刺激法の進歩が期待される。

物理療法教育の現状について山本論文をみると、我が国の理学療法士養成教育における物理療法教育は質、量ともに改善すべき点が多いようである。

リハビリテーション医療の分野での鍼灸治療は、我が国よりはむしろ欧米のほうが盛んに用いているようである。

丹沢先生に理学療法における鍼灸治療の効果についてご執筆いただいた。内容がわかりやすく实际的に書かれているためにたいへんに参考になる。鍼灸治療の限界をふまえて、きちんとした解説がされている。

演習論文は、超音波療法の基礎と臨床について述べたものである。物理療法の新しい領域として今後の発展が期待される。

講座はそれぞれ9回目に入り、「運動学習」の「運動の指導方法論」は理学療法士にとって特に参考となる。「障害者と職業」は視覚障害者の職業について述べられている。

やっと本格的な夏らしい暑さになったと思ったら、今日は立秋だということになり、残暑厳しい日々を迎えることとなりますが、読者の皆さんどうか夏負けをしないで、この夏も乗り切ってください。

(松村 秩)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春

東京都立医療技術短大学長

津 山 直 一

国立身体障害者リハビリ
センター総長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏

東大リハビリ部

荻 島 秀 男

ペインリハビリテーシ
ョンクリニック高島平
整形外科

大 喜 多 潤

兵庫県玉津福祉センター

寺 山 久 美 子

東京都立医療技術短大

富 岡 詔 子

信州大学医療技術短大

奈 良 勲

金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子

筑波大学

松 村 秩

東京都立医療技術短大

<編集同人>

池 松 洋 子

岩 崎 テル 子

宇 都 宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 み ち 子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子

理学療法と作業療法

(第22巻 第9号)

1988年9月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,350円(配送料60円)

〔年ぎめ予約購読料 15,120円〕
〔送料弊社負担〕

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)817-5600

本誌編集室直通(03)817-5703

(担当:渡邊・細田)

販売部直通(03)817-5659・5660

広告室直通(03)817-5696

ファクシミリ(03)815-7802

振替口座 東京7-96693番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1988, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。